
第50回プレストレストコンクリート技術講習会（オンライン開催）

主催：（公社）プレストレストコンクリート工学会
協賛：（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会
後援：（公社）土木学会，（一社）日本建築学会，
（公社）日本コンクリート工学会，（公社）日本材料学会，
（一財）橋梁調査会，（一社）建設コンサルタンツ協会，
（公財）高速道路調査会，（一社）セメント協会，
（一社）全日本建設技術協会，
北海道土木技術会コンクリート研究委員会

プログラム（予定）：

【主催者挨拶】（10分）

本工学会会長

【特別講演】（各40分）

- ① 「機械学習と振動測定を用いた社会基盤構造物の健全性診断」
東北大学大学院 准教授 内藤 英樹
- ② 「遅延エトリングایت生成の鉄筋コンクリートへの力学的影響」
名古屋大学大学院 准教授 三浦 泰人
- ③ 「徳島大学における非破壊試験によるコンクリートの品質評価の取り組み」
徳島大学大学院 准教授 渡辺 健

【テキスト題目】

（40分）（A）「橋梁診断支援 AI システムの開発」

国立研究開発法人 土木研究所 石田 雅博

（40分）（B）「PC 技術を生かした機能と造形（建物紹介）」

近畿大学 教授 本工学会理事 岸本 一藏

（40分）（C）「高速道路の取り組み」

1) NEXCO におけるリニューアル工事の取り組み

西日本高速道路㈱ 大城 壮司

2) 首都高速における PC 橋の健全度と補修・補強

首都高速道路㈱ 益子 直人

（40分）（D）「鉄道の取り組み ―乗り心地の良い橋を作る技術―」

（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 朝長 光

（50分）（E）「PC 技術に関する海外の話題」

1) fib コングレスの報告および fib Awards 2022 の紹介

東京大学 准教授 長井 宏平

2) FIP から fib までの 30 年の活動で思うこと

三井住友建設㈱ 春日 昭夫

（30分）（F）「日本におけるプレテンション方式 PC の工業化への流れ

～PC マクラギから PC 橋への展開（長生橋，泰平橋）～」

PC アーカイブス委員会 西垣 義彦

以上

※題目・講師については変更する可能性があります。

※土木学会継続教育（CPD）プログラムの認定単位数は，6.0 単位です。